

## 7-③ 避難訓練実施計画（大地震）

（第三小学校）

### 1 目 標

休み時間に大きな地震が起きたという想定。緊急放送等の指示をしっかりと聞き、安全・確実な避難ができるようにさせる。

### 2 期 日

休み時間中の大地震 平成 年 月 日（ ）業間（10時30分）～11時20分  
学校行事3M、4校時開始は変わらず（11時40分）  
雨天時順延

### 3 訓練内容

#### 【概要】

- ① 訓練の内容は児童に知らせ、事前指導を行う。
- ② 先生方は、あらかじめ定められた場所に待機していて、児童の安全確保の誘導にあたる。  
<担当場所は別紙>
- ③ 集まって避難することではなく、緊急放送や先生方の指示に従って、臨機応変に避難する。  
(避難場所は、春の訓練と同じで各学年ごと整列)

#### 【事前指導】

- ① 地震発生時の対処の仕方

##### 【校庭】

- ・建物の近くに近寄らないようにし、校庭の中央に慌てず移動する。
- ・しゃがんで次の指示を待つ。

##### 【校舎内】

- ・教室にいる児童は、机の下にもぐる。
- ・廊下にいる児童は、一番近くの教室に入り、机の下にもぐる。  
(ドアは開け放つ)
- ・教室に避難できない時は、落下物や倒れやすい物を避けて体を隠す。
- ・近くの職員の指示、または放送の指示に従って、速やかに集合場所に移動する。

- ② 緊急放送の聞き方
  - ・ 静かにして、正確に聞き取る。
- ③ 避難の決まりの徹底 「おさない。はしらない。しゃべらない。(もどらない)」
  - ・ 私語をやめ、あわてないで、急ぐ! できる限り、赤白帽子をかぶる。
- ④ 避難経路、避難場所の確認
  - ・ 校舎内では、基本的に春に実施した避難経路を通る。
  - ・ 大事なポイントに先生方が待機していて誘導するので指示に従う。
  - ・ 校庭では、速やかに避難場所に避難する。
- ⑤ 上級生の活躍
  - ・ 児童しかいない場所（たとえば図書室など）では、上級生から下級生への声かけなど、できる範囲での活躍が期待される。

## 【当日の訓練内容】

① 出欠の確認 1時間目の休み時間までに出欠板に記入

② 緊急放送 静かに、確実に聞く!

「(10時30分) 訓練放送!ただいま強い地震が発生しました。その場で待機しなさい。校庭で遊んでいるみなさんは、校舎から離れて待機しなさい。」(約1分間) 少し間をおいて・・・

「全校の皆さん、静かにして今から言うことをよく聞きなさい。大きな揺れが続くかもしれないため、安全な校庭に避難をします。先生方の指示に従って校庭に避難しなさい。」

③ 先生方は、それぞれの待機場所において、児童を避難誘導し検索をする。

④ 人員の確認 担任→学年主任 →教頭→校長

⑤ 避難経路 <別紙参照>

★各待機場所にいる担任の先生方は、避難の流れを作ってください。

各学年担任 1名…校庭で整列指示。

1名…児童の先頭に立ち、避難。

1名…児童がいないか近くのトイレや特別教室を速やかに確認し、児童の列の最後尾に付き避難。

検索担当……すぐに階段や出口付近へ行き、近くにいる児童に避難の声がけ。

児童が避難をした後、トイレや特別教室を含めて担当箇所を検索。

【東校舎：T1・T2】高学年昇降口で確認後、集合場所へ。

【北校舎：T1・T2・T3】中学年昇降口で確認後、集合場所へ。

(不明者が居た場合、再び検索をお願いします。)

⑥ 想定解除

⑦ 講評

・校長

⑧ 安全部より

## 5 係分担

・放送・計時	教務主任
・児童誘導	教職員
・検索	別紙
・放送準備	視聴覚部
・全体指導	安全部
・講評	校長・消防署
・実演	安全部・消防署

## 6 その他

① 校庭への避難は、上履きで行う。教室内の児童は可能な限り赤白帽子をかぶるようにする。終了後、昇降口にぞうきんを用意。

② 出席簿(名簿)は担任が持参する。7年部は、児童名簿を持参する。

③ 1時間目終了後に当日の欠席児童数を記入する。

④ 詳しい避難経路と避難誘導の役割等は別紙参照